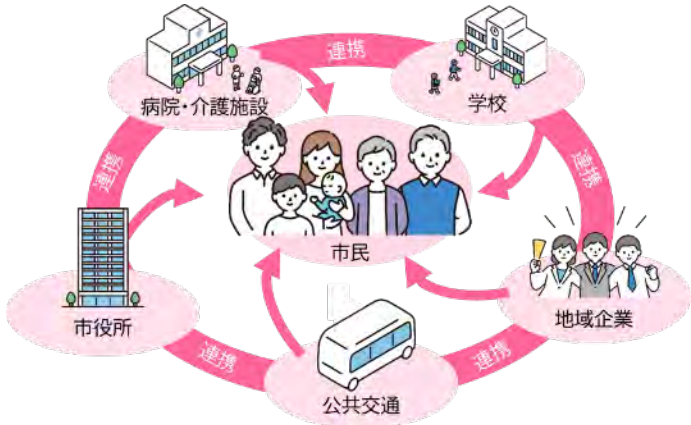


事業概要： 便利で暮らしやすい「若者に選ばれるまち」の構築～茅野市DX推進プロジェクト～

旧制度（推進）

申請者	長野県茅野市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	284,933千円 (35,900千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	当市が総合戦略に掲げた「若者に選ばれるまち」の実現のため、データやデジタル等の先端技術を活用し、市民が便利で暮らしやすさを実感できる新たなサービスの展開と、新たな技術が地域内に持ち込まれることにより付加価値の高い新たな産業や雇用を創出すること、またこれらの情報を効率的かつ広域的に発信することで、地域における若者の移住・定住の促進と、人口減少・少子高齢化による地域の担い手不足の解消を図り、子どもからお年寄りまで全ての市民が暮らしやすいまちの実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業においては、地域DXを推進することで総合戦略に掲げた「若者に選ばれるまち」の実現を目指す。そのため、「データ連携基盤」を活用した、デジタルサービスを提供及び情報発信、また構築する職員や利用する市民等の情報リテラシー向上などの施策を並行して行い、便利で暮らしやすい街づくりに寄与する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○デジタルサービスプロモーション事業 2,600千円 災害時の円滑な避難所受付と迅速かつ正確な避難者情報の収集及び災害支援に資する避難所マネジメントシステムの実証及び実装事業。 ○デジタル人材育成、情報リテラシー向上 1,500千円 ○DX専門人材による支援 31,800千円		
KPI			
	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/kikakuzaisei/1209.html		
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①都市OS利用者（ID登録者）数（+14,130人） ②都市OSを活用したサービスの実証件数（+19件） ③デジタル人材研修受講者数（+590人）		

事業概要：立川市を起点とし多摩地区及び首都圏からの交流人口・関係人口の拡大及び地域資源への関わりを通じた関係人口創出事業

旧制度（推進）

申請者	長野県茅野市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	34,600千円 (4,800千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・首都圏でも茅野市とアクセスの良い多摩地域との連携による地域の活性化 ・IT関連企業の誘致や、首都圏のIT企業につとめながら茅野市に暮らしつづけるライフスタイルの創出 ・地域資源の活用に地域外市民の視点を生かした「コト」づくり事業の創出 ・新たな関係人口を通じた労働人口の流入による高齢化・生産年齢人口減少の抑制		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業を通じて構築した茅野市と多摩地域との連携、新たに造成した茅野市独自のワーケーションプログラムを活かして、都市部等でプロモーション活動を行い新たな関係人口の獲得を目指していく。 また、本事業を通じて茅野市ととの関わりが生まれた新たな関係人口が定着していくための支援を行う。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・都市部企業等を対象としたワーケーションプログラムによるプロモーション事業 2,500千円 ・大学生等を対象とした地域活動の支援に関する事業 800千円 ・本事業全体を通じて創出した関係人口者の事業定着化に向けた伴走支援 1,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①IT関連企業の首都圏等からのサテライトオフィスの設置および起業数（+6社） ②立川市を始めとする都市部のIT企業等と行うイベント等への参加者数（+110人） ③地域資源への「関わりしろ」について発信した情報の到達数（+5,950件） ④地域資源に関する「コトづくり」事業等への参加者数（+100人）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/kikakuzaisei/1209.html

事業概要：八ヶ岳ファン拡大を通じた関係人口創出事業

旧制度（推進）

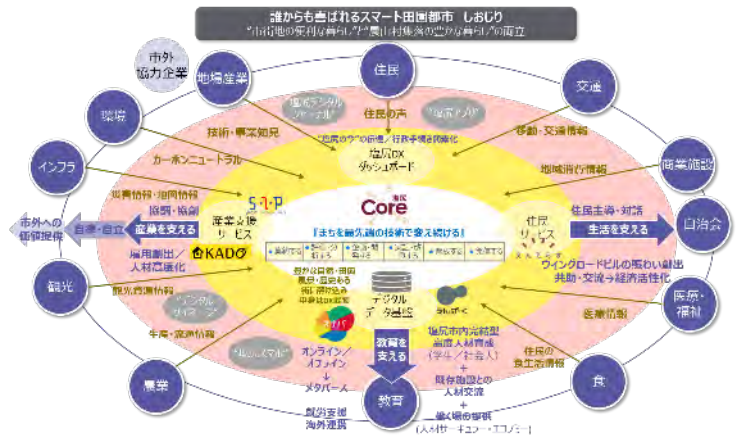
申請者	長野県茅野市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	44,500千円 (15,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・「若者に選ばれるまち」の実現。20～30代及び生産年齢人口の減少の抑制 ・八ヶ岳のある暮らしを実現する「茅野市」の認知度向上、八ヶ岳ファンの拡大 ・茅野市を知り、訪れてくれた方が当市の魅力を感じ移り住んでくれるようになる		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 20～30代をターゲットとした八ヶ岳を中心とした多様な魅力のある暮らしを伝えるプロモーション活動 若い世代や女性を対象に、UIターン者が地域での関りを定着するための多様な稼ぎ方の支援を行う。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・八ヶ岳のある暮らしプロモーション動画の制作、発信 6,500千円 ・20代～30代を対象とした八ヶ岳とその山麓での暮らしの魅力を伝えていくイベント3,000千円 ・若者や女性対象とした起業・創業に向けた支援 3,000千円 ・事業全体の情報発信及び関係人口の計測 2,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域へのUIターン数（県外からの転入者増分）（+60人） ②イベント参加者等による新たな事業の創出（+1件） ③プロモーション動画等の到達数（+55万件） ④プロモーションイベント等への参加者数（+90人）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/kikakuzaisei/1209.html

申請者	長野県茅野市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	292,972千円 (35,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	駅前商業ビルの空き床に、ビジネスや教育、情報交換、交流、観光情報の取得など様々な目的で、地域内外の人が必然的に集積する施設を整備。整備施設を活用したイベントや、交流事業等を行うことで生産年齢人口の維持や駅周辺の滞在人口の増加を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 駅前商業ビル「ベルビア」1階の空き床に、ビジネスや教育、情報交換、交流、観光情報の取得など様々な目的で、地域内外の人が必然的に集積する交流拠点施設を整備する。また、当該施設の整備後は、施設に入居する企業や、地域内での様々な交流機会を求めているプレーヤーをターゲットに既存観光地と茅野駅周辺を来訪客が周遊できるようなイベントや共創事業、起業を実現したばかりの経営者や、地元企業、大都市圏に拠点を置く大手企業等との間のビジネスマッチングや拠点間交流・プロモーションを行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・共創事業開催経費（委託料） 15,000千円 ・ワンストップセンター専門人材（謝礼） 2,000千円 ・大都市圏のコワーキングスペース等との拠点間交流・プロモーション経費（委託料） 12,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①生産年齢人口比率 （▲0.90%） ②茅野駅周辺の一泊平均滞在者数 （+900人） ③セミナー、交流事業等の来場者数 （+2300人） ④ワンストップセンターの相談件数 （+115件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/kikakuzaisei/dai2jisougousenryaku.html#download （効果検証） https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/kikakuzaisei/1209.html

事業概要：地域におけるデジタル人材活躍×DX推進事業

旧制度（推進）

申請者	長野県塩尻市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	254,300千円 (35,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・地域課題の解決に資する研究・開発・実証・実装を官民協働で持続的に展開する仕組みの構築を図る ・地域DX領域の新たな社会機能の創出を図る ・デジタル分野への新たな就労を求める人材がデジタル人材として活躍する場の創出を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市の地域DXへの都市部先進企業の参画促進や拠点施設をベースに展開する事業開発プロセスのコーディネート・サポート、地域DXに必要なデジタル人材の育成・確保を通して、地域課題の解決や地域住民の利便性向上に資する新たなデジタルサービスやアプリケーションの研究・開発・実証・実装を官民協働で持続的に展開する仕組みを構築し、地域DX領域の新たな社会機能の創出を図るとともに、デジタル分野への就労を求める人材がデジタル人材として活躍する場の創出を目指す。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○課題解決に必要な先進的なテクノロジーやソリューションを有する企業の参画促進 ・セミナー及びイベント開催費 700千円 ・アセット集積活動費 2,000千円 ○地域課題を解決する事業開発プロセス推進のコーディネート及びサポートの実施 ・地域DXコーディネーター 6,000千円 ・DXサポートスタッフ 12,600千円 ・プロジェクト推進・総括支援 5,800千円 ○地域DXで必要となるデジタル人材の育成・確保 ・デジタル人材コーディネーター兼DXサポートスタッフ 4,200千円 ○プロモーション、各種諸経費 ・事業活動諸経費 4,200千円		
KPI	※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値 ①交通DX分野で社会実装したサービス数（+4件） ②事業開発プロセスに参画した企業数（+30者） ③交通DX分野での実証実験数（+25件） ④自営型テレワーク事業からキャリアアップし事業開発プロセスにおいて就労した地域デジタル人材数（+225人）		
URL		※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shiojiri.lg.jp//so-shiki/7/37656.html



事業概要：山と都市をつなぐ森林ハブ拠点整備事業

継続

申請者	長野県塩尻市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	881,574千円 (321,574千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・廃校となった旧檜川中学校の校舎を活用し、木曽の森林資源と都市をつなげる「森林ハブ拠点」の整備を進める。具体的には、体育館を再整備し、木曽・奈良井地域のカラマツを桂剥きして単板を製造し、付加価値型地産合板の企画・製造を行う合板工場を設立する。これにより、持続可能な林業の発展と地域経済の強化を図る。また、教室等を活用し、林業や木工に関わる企業の交流やイノベーションを促進する施設を整備する。信州をはじめとした、山や森の課題を解決に資する取組みを推進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 廃校となった旧檜川中学校を再整備し、合板工場と森林をテーマとしたハブ拠点を整備する。 体育館を活用した合板工場では、木曽・奈良井産カラマツ材を用いた高付加価値合板を製造し、地域林業の活性化と雇用創出を図る。校舎棟には事業者交流、研修、カフェ、宿泊、貸し工房機能を備えた森林ハブ拠点を整備し、産業連携と持続可能な地域づくりを推進するとともに、信州をはじめとした、山や森の課題解決に取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○建築物本体工事 201,729千円 ・工事監理委託 32,109千円 ・建築工事 169,620千円 ○建築物と不可分な設備工事 101,475千円 ・電気設備工事 29,183千円 ・設備工事 72,292千円 ○その他設備整備 18,370千円						
主なKPI	①木材活用料 (+1,800m³) ②施設延べ利用者数 (+12,000人) ③貸し工房の貸室数 (+11室) ④新たに生まれた雇用者数 (+28人) ⑤新たに生まれた事業の数 (+13事業)					URL	https://www.city.shiojiri.lg.jp/soshiki/7/37656.html

事業概要：デジタル人材育成・就労支援事業

継続

申請者	長野県佐久市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	147,700千円 (31,300千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域課題の解決を牽引するデジタル人材の育成・確保 ・女性の社会進出と経済的自立といったジェンダーギャップの解消 ・時代のニーズに合わせた多様な働き方の創出 ・シティプロモーションやシビックプライドの醸成による移住定住の促進						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 子育てや介護等の理由で無職または非正規雇用の女性を主な対象に、デジタルスキル習得から就労までをワンストップで支援し、女性の経済的自立と多様な働き方の実現を目指す。デジタル人材育成と就労支援の組み合わせにより、従来のマッチング支援だけでは就労に繋がらなかった女性の活躍を促進するとともに、地元企業での雇用や業務切り出しにより、地域の人手不足に対応し、地域で育った人材が、地域で活躍するという官民連携による好循環の実現を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○デジタル人材の育成講座及び就労支援のプロジェクト管理・運営 ・プロジェクト全般運営（委託料）16,600千円 ○WEBやチラシ等の媒体を活用した広報・情報発信 ・デザイン・構成検討、コンテンツ作成、Webサイト運用費用、パンフレット作成等（委託料）2,200千円 ○リスキリングのための研修の実施 ・リスキリング（研修）（委託料）12,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①女性デジタル人材の就業者数（+220人） ②転入超過数（+2,160人） ③満足度・重要度及び幸福感（+2.0%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://cosmosta.jp/

事業概要：企業DX推進事業

旧制度（推進）

申請者	長野県佐久市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	51,000千円 (20,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	出生産年齢人口の減少を背景に、DXの普及浸透やデジタル技術の実装支援、社内のデジタル人材育成及び地域のデジタル人材の活用・採用に対する支援を行うことで、安心して働ける「しごと」の創出及び雇用（人材）を確保する デジタル技術を活用した変革により、業務効率化による生産性の向上や、地域産業の変革に対する支援を行い、産業や生活の質を大きく向上させ、活力あるまちづくりを目指す		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 専門家によるセミナーの開催やヒアリング等を通じ、経営層の意識改革や各社の課題を可視化し、最適なデジタル技術の導入を伴走支援するとともに、導入後の活用を担う人材の育成・採用までを支援することで、一過性に終わらない持続的なデジタル変革を実現する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○プロジェクト全般運営費用（委託料）20,000千円 ・運営 年度計画立案、全体マネジメント、モニタリング、進捗管理 全般に係る経費 6,000千円 ・認識共有・機運醸成 デジタル化等に関する基本的な知見習得、研修やワークショップの開催経費 3,000千円 ・実装支援 社内のデジタル化等推進体制構築支援、コンサルティング、システム、ツールの導入支援に係る経費 7,000千円 ・人材育成・活用 地元企業のニーズに応じた人材育成研修の開催、地域のデジタル人材の活用支援に係る経費 4,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+135人） ②支援事業を通じた参加企業の労働生産性（+15%） ③デジタルシステム・ツール導入件数（+45件）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL (効果検証) https://www.city.saku.nagano.jp/shisei/seisaku_shisaku/tihosousei/mahishi_koukakensyou.html

事業概要：東御市シティプロモーション強化事業

旧制度（推進）

申請者	長野県東御市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	48,000千円 (12,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・デジタルプレスリリースやWeb広告などネット上での情報発信を強化することで、認知度の向上を図る。 ・首都圏でのPR事業や東御市公式ファンクラブ会員向けのツアーの実施などにより、関係人口の拡大を図る。 ・若い世代を含め市民が動画制作技術を学ぶ市民クリエイター塾を開催することで、シビックプライドの醸成を図る。 ・首都圏をターゲットに移住相談と併せて就業支援を実施することで、移住定住を促進する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 関係人口拡大のためのウェルネスツーリズムを活用したプログラムや、市民が動画制作を学ぶクリエイター塾、ファンクラブ制度のPRおよびツアーの実施、デジタルによるプレスリリース、首都圏での移住相談会、移住者就業支援を実施する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○シティプロモーション情報発信事業 9,206千円 ・ウェルネスツーリズムを活用した体験型プログラム提供事業 ・シビックプライド醸成のための市民クリエイター塾の開催 ・各種イベント・行事の効果的な宣伝活動 ・東御市公式ファンクラブ事業（ツアーやPR） 等 ○移住者就業支援・移住相談会・交流会事業 2,794千円 ・移住と就業をセットで支援、首都圏での働き世代をターゲットにし 移住相談会の開催、地元住民との交流会の実施		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域へのU I J ターン数（+11人） ②人口の社会増減数（+161人） ③ふるさと納税寄附件数（+8,865件） ④認知度ランキング（長野県内19市）（▲3位）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.city.tomi.nagano.jp/category/tihouseisei/169318.html

事業概要：東御市宿泊交流拠点施設整備事業

継続

申請者	長野県東御市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,099,991千円 (570,541千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	東御市には、多彩で魅力ある観光資源が存在しているが、観光客の当市内での観光消費は伸び悩んでいる。その背景として、当市内の宿泊施設の不足、不十分な観光地域づくり体制、体験型・滞在型メニューの不足、インバウンドへの不十分な対応、当市の観光地としての知名度の不足等の課題がある。こうした課題が相互に絡み合うことで、地域内における観光消費の増大や波及効果の拡大が実現しにくい。この状況を打破するため、観光客の「認知」から「滞在」「体験」「周遊」「消費」へと至る一連の導線を再構築し、地域資源を最大限に活かした戦略的かつ持続可能な観光振興施策を設計・実施する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光消費の増大及び域内循環を促進するため、本事業で整備する宿泊交流拠点施設等を起点とした体験型・滞在型メニューやインバウンドへの対応の充実等により、東御市ならではの魅力を滞在中に深く体感できる仕組みを構築する。さらに、里山に囲まれた、道の駅にも近い地域に宿泊交流拠点施設を新たに整備する。脱炭素にも配慮したこの施設には、宿泊機能に加え、地域食材を活かした飲食機能、観光情報の発信機能等も持たせる。これらの施策により、観光客の滞在時間や消費額の増加を図り、観光を起点とした地域経済の活性化を目指す。					 イメージ図	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・プロモーション 16,780千円 ・宿泊交流施設の機能強化 15,202千円 等 ○拠点整備事業 ・設計・監理 166,050千円 ・用地造成 235,905千円 等 ※効率的・持続可能な事業の実現のため、設計・建設・運営を民間事業者が一体的に担うDBO方式を活用した事業スキームで推進する。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+27.6億円） ②主要観光施設入込客数（+40,900人） ③延べ宿泊者数（+60,600人） ④ツーリズム参加者数（+2,300人） ⑤宿泊交流拠点施設の年間宿泊者数(+14,840人） ⑥宿泊交流拠点施設のSNSの登録者数(+11,182人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tomi.nagano.jp/category/tihousei/169318.html

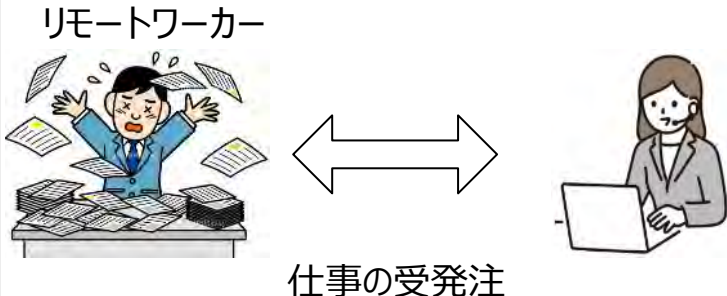
事業概要：東御市古民家レストラン整備事業

継続

申請者	長野県東御市						初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	356,635千円 (86,450千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	東御市でも、古民家などの空家が増加傾向であり、なかでも適切な管理が行われていないまま放置されている空き家が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている。古民家には改築の上再利用出来るものも多く、文化的価値もあり、商業利用の可能性もあるものの、商業利用での再利用は限定的である。その理由として、古民家の再生後の利用に関するアイデアが関係者から出てくるものの、土地条件の制約から再利用後の収支が見通せないため実現しない場合も多い。このため、本事業では、古民家を移設・改修し、レストランと地域物産の売店として再生し、その運営状況を広く共有することで、移築・再生する古民家のモデルとし、移設を伴う古民家再生の流れを作る。古民家の再生を通じ、歴史と文化を後世に残しつつ共生をしていくことで、災害に強く、住みやすいまちづくりを実現するとともに、観光客にとっても「地域の歴史と文化が感じられる、また来たいまち」となるような、美しいまちづくりを行い、ここにしかない価値を磨き上げ、持続可能なまちを作る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業では、歴史的かつ文化的な古民家（解体保存されていた古材）を移設、レストランと地元食材などの特産品の売店として改修・再利用する。レストランのメニューは季節の地元食材で構成し、郷土料理や発酵食、ワインとのペアリングなども展開する。また、地場産業の売店では、浅間山を代表する山々からの豊かな恵みで育てた野菜や果物はもちろん、ワインやチーズ、鶏肉、牛肉、さらには羊肉の販売を行う。この取り組みを通じ、古民家の移築・再利用のモデルを示す。						 イメージ図	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・設計・監理 28,950千円 ・用地造成 22,500千円 等 ※効率的・持続可能な事業の実現のため、設計・建設・運営を民間事業者が一体的に担うDBO方式を活用した事業スキームで推進する。							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①古民家レストランの延べ利用者数（+15,500人） ②古民家レストランの売上額（+48,500万円） ③古民家レストランの利益額（+210万円） ④古民家レストランの地域食材、商材の使用率（+70%） ⑤古民家レストランの雇用者数（+6人） ⑥古民家レストランのSNSのアクセス数(+10,100件)						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tomi.nagano.jp/category/tihousei/169318.html

事業概要：リモートワーカーを活用した労働力不足解消支援事業

旧制度（推進）

申請者	長野県安曇野市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	42,187千円 (14,212千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・育児や介護中等、時間的制約のある方の就労を支援（リモートワーカーとして育成） ・リモートワーカーと地域事業者をマッチングさせ、地域の労働力不足問題を解決 ・都心部企業（主に情報通信業）を誘致し、リモートテレワーカーの受注拡大、若者等の新たな就労先を確保		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○リモートワーカーの確保育成・企業とのビジネスマッチング支援 ○サテライトオフィス誘致業務		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○リモートワーカーの確保育成・企業とのビジネスマッチング支援 ・事務局運営費 6,292千円 ・各種セミナー経費 1,964千円 ・グループワーク交流会 220千円 ・コワーキングスペースの運営 660千円 ・リモートワーク発注コーディネート 770千円 ・ビジネスマッチング 385千円 ・リモートワーカー活用事業補助金 500千円 ○サテライトオフィス誘致業務 ・マッチングイベント出展料など 1,870千円 ・東京での企業対応代行 440千円 ・個別企業紹介、誘致支援ミーティング料 1,430千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における新規雇用者数（+110人） ②スキルアップセミナー参加者数（+80人） ③リモートワーカー活用イベント参加事業者数（+15社） ④サテライトオフィス誘致件数（+3件）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.azumino.nagano.jp/so-shiki/9/ （効果検証） https://www.city.azumino.nagano.jp/so-shiki/6/86722.html

事業概要：『安曇野で働く』を通じた経営支援、ブランド構築、起業・就業支援事業

継続

申請者	長野県安曇野市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	30,214千円 (11,078千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・WebやSNS等を活用したマーケティング・ブランディングの支援等により、経験やスキルを活かした起業等を支援 ・市内企業の取組を学生等に発信する機会を創出し、企業の人材確保と移住者等の就業面のサポート 本事業によって本市へ移住・起業する人や新しい発想で生まれた個店が増えることで街の賑わい創出につながり、魅力的な個店ができることで本市への更なる移住者増が期待でき、起業と移住の両輪で好循環を生んでいく。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 (1)Webマーケティング支援 適切な情報発信媒体の選択、効果的な情報発信等の支援 (2)『起業×移住』 都市圏でのリアル開催セミナーやオンラインセミナーの実施、起業・就業までの伴走支援、ホームページの作成を実施 (3) オープンファクトリー事業 バスで市内企業を訪問し、企業の取組を学生等に発信する機会を創出						
	【R8年度事業 経費内訳】 (1)Webマーケティング支援 ・Webマーケティング支援（委託料）：2,640千円 (2)『起業×移住』 ・「起業×移住」支援（委託料）：3,608千円 (3) オープンファクトリー事業 ・バスによる企業訪問支援（委託料）：4,830千円						
主なKPI	①社会動態（社会増）（+759人） ②Webマーケティング・ブランディング支援事業による企業支援回数（+180回） ③オープンファクトリー事業参加者数（+240人） ④事業を通じた起業家数（+9者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/9/ （効果検証） https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/6/86722.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

申請者	長野県安曇野市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,090,100千円 (66,200千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	宿泊、レストラン、物販、交流等の機能をもった複合施設を新設し、滞在型観光や体験型観光への転換を通して観光消費額の増加を図るとともに、地場産品の価値向上や地域内調達による雇用の創出をもたらす拠点とする。 歴史的文化財を改装し、高付加価値旅行者やインバウンドへの働きかけを強めることで、新たな客層の開拓と持続可能な観光地の形成を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本陣等々力家を、歴史的価値や日本の本物の文化を身近に感じる高付加価値層向けの「宿泊エリア」、自然・伝統・文化を取り入れ地産食材を活用した「レストラン」、地元事業者と連携しマルシェやイベントを開催する「文化・交流エリア」を備えた複合施設に整備する。 事業の実施は、本市が主体となり、文化財保存・宿泊施設運営・観光推進等に実績を有する民間事業者と連携しながら、地域振興と持続可能な運営モデルの確立を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・宿泊施設整備費 66,200千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+50億円） ②観光客の滞在日数（平均宿泊日数）（+2.6日） ③延べ宿泊者数（+3,942人） ④年間利用者数（+7,640人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/9/ （効果検証） https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/6/86722.html

事業概要：小海町を「まち」として営み存続させる こうみワインプロジェクト事業

継続

申請者	長野県小海町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	91,083千円 (49,239千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少等の起因による町の存続が危ぶまれるなかワイン用ぶどうという地域資源を磨き上げ、複数の産業が結びついたしごとを創出し、地域経済の循環を構築する。取組により、交流人口の増加、人口減少の緩和を図り、活力のある持続可能な町づくりに帰着するもの。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○事業展開戦略 ビジョン等の方向性を考え、事業戦略を練り、将来像を明確にする。 ○資源形成の取組 ぶどうの生育等の調査を行い、高品質及び必要収穫量の確保に取り組む。 ○商品形成の取組 ブランディング、マーケティング戦略を構築し商品価値を高める。 ○担い手確保取組 事業展開・持続可能性を高めるため、担い手確保の取り組みを行う。 ○商品製造への取組 ワイナリーの建設準備を行い複数の産業が結び付いた取り組みを目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○事業展開戦略構築 1,650千円 ・事業展開戦略確立推進計画作成委託料 ○資源形成の取組 6,226千円 ・圃場調査他委託料 ○商品形成の取組 11,737千円 ・マーケティング統括戦略設計、SNS、Youtube、web企画実行他委託料 ○担い手確保取組 2,013千円 ・生産者・加工者誘致施策企画、イベント出展等他委託料 ○商品製造への取組 3,938千円 ・ワイナリー建設ランドデザイン作成他委託料 ○事業推進のための事業設備費及び備品費 23,675千円 ・資源枯死対策、品質向上、産地拡大、販路獲得などの取り組み						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農産物平均出荷量（+175ケース） ②総農家数（+12世帯） ③販路獲得数（+13件） ④商品原料となるぶどうの収穫量（+3,300kg） ⑤ぶどうの新規生産・加工者数（+4人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.koumi-town.jp/office2/archives/political-info/nougyou/post-1600.html

事業概要：コンパクトタウンの強化 創造空間 こうみ 多生～Make P Progress事業

新規

申請者	長野県小海町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,202,400千円 (866,080千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	小海町は J R 小海駅を中心に拠点的機能が備わった「コンパクト・タウン」として形成されている。この都市構造を強みとして活用し、小海駅周辺に移住定住・小海町に留まりたい、交流や賑わいを生み出す魅力的な空間を創出することで外から人を呼び込み、また内から外への流出を防ぐ。交流人口の増加、移住定住、転出抑制等により人口を確保する。これにより地域内消費の拡大、経済波及効果拡大が図られ、将来においても地域を存続させ、活力あるまちづくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 都市機能が集積する小海駅周辺において、利便性の高い新たな居住エリアの整備と、町民の憩いの場となる公園整備を一体的に実施するものであり、既存の未利用地や低未利用地を再編し、「魅力ある多様な空間」を創出することで、若年層・子育て世帯などの流入・定着を図るとともに交流人口の増加を促進するものである。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・新たな創造空間回遊のための戦略構築（委託料）7,700千円 ・新たな創造空間に人を呼び込む各種取組（委託料）9,130千円 ・ともに伴走する担い手確保の取組（委託料）1,100千円 ○拠点整備事業 ・新たな住まいの場拠点整備 529,150千円 ・人を呼び込む公園拠点整備144,100千円 ○インフラ整備事業 ・人を呼び込む公園整備123,200千円 ・新たな創造空間の価値を高める道路整備 51,700千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①人口数（▲570人） ②交流人口数（+30,958人） ③町民定住意向割合（+17.4%） ④コミュニティスペース利用者数（+8,410人） ⑤土村公園利用者数（+7,310人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：南牧村農畜産物直売所増改築事業

新規

申請者	長野県南牧村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	181,000千円 (181,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・農畜産物のブランド化の推進や加工販売、安心・安全な農畜産物づくりへの取り組みなど、高付加価値化を推進する。 ・効果的な情報発信により、基幹産業である農畜産業をより広く発信し、販路拡大と地域経済の拡大を目指す。 ・稼ぐむらづくりに寄与することで村全体のさらなる活性化を図り、農家の意欲向上や新たな雇用の創出につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 村内の農畜産物の主要販売拠点である農畜産物直売所では、売場の狭隘化や搬入動線の未整備により出品量や品目が制限され、生産者の作業効率や来場者の利便性の面で課題が生じている。本事業は、直売所の増改築により売場を拡張するとともに、農家が野菜を持ち込むための搬入口及び作業スペースを新たに確保し、あわせて入口スロープを設置するものである。これにより出品環境の改善と販売機能の強化を図り、生産者の負担軽減、出品機会の拡大、来場者の利便性向上を実現する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 南牧村農畜産物直売所増改築 176,435千円 ・備品整備 直売所増改築に伴う備品整備 4,565千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①南牧村農畜産物直売所の付加価値額（+2,000万円） ②南牧村農畜産物直売所の売上高（+3,400万円） ③南牧村農畜産物直売所の取扱商品目数（+24点） ④南牧村農畜産物直売所出荷組合員数（+21人） ⑤農業所得の直近3年平均額（+1.2億円） ⑥観光客入込数（+48千人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：森林資源を活かした循環型地域産業エコシステム構築事業

新規

申請者	長野県南相木村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	26,200千円 (11,400千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・未利用材の有効活用と魅力のとりまとめ、情報発信、関係企業との取り組みの強化を通じて、一斉に伐期を迎えた村産カラマツを中心とする森林資源を、持続的かつ循環型で半永久的に活用し続ける森林資源の循環型のエコシステムを確立する。 ・地域の基幹資源である森林資源を活用し、林業・木材関連産業の付加価値向上と販路開拓を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 苗木の生産から、森林所有者と連携した適切な森林管理、安定した材の出荷、材の高付加価値化（建材利用等）、未利用材の効果的な活用（薪、加工品等）、エネルギー利用（薪ストーブ）までを域内で行う循環型エコシステムを構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 事業①「森林資源の有効活用事業」 ・地域資源の加工品の拡充（セガサミー等との意見交換を踏まえて、マウスパッドやマウスリフトレス、積み木・木製パズル、ラック、表札等から3品程度 委託費2,000千円 ・薪の販売促進として、別荘地等へのPRチラシのポスティング費（500千円） 事業②「セガサミーの森強化事業」 ・セガサミーの森をテーマにした、加工品等を活用したイベント等の開催費（1,000千円） ・セガサミー交流イベントにおいて、森林資源循環型エコシステム（仮称）PR、意見聴取を継続実施する 委託費1,000千円（特設ブース設置費700千円、意見収集、とりまとめ費用300千円） 事業③「南相木の森林資源循環型エコシステム（仮称）PR事業」 前年度に開設した特設WEBサイトに、1年目の取材記録を追加制作するとともに、建材としての利用価値についても追加制作する 委託費1,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①林業・木材関連産業における付加価値創出額（+11,697千円） ②薪の年間販売額（+8,630千円） ③森林資源関連加工品の販売額（+1,000千円） ④苗木の販売額（+6,300千円） ⑤地域産材の搬出量（+7,500m ³ ） ⑥「南相木応援団」の登録者数（+1,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.minamiaiki.jp/gyousei.htm#midasi2 (令和8年7月公表予定)

事業概要：伍賀地区地域活性化拠点整備事業

新規

申請者	長野県御代田町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	96,030千円 (96,030千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少・高齢化が進む御代田町伍賀地区に、地域資源の強み（高原野菜生産、自然・観光資源、地域コミュニティの潜在力）を活かした地域活性化拠点を整備し、地域住民や若年層・移住者層、観光客等、すべてのコミュニティが交流や移住相談、移住体験、農業体験のできる施設を建設する。関係人口や交流人口を巻き込み、人口減少・高齢化という「町内二極化」の構造的課題の解決と移住定住の促進や地域資源の活用により、地域の活力向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 御代田町伍賀地区の人口減少・高齢化対策として、新たに地域活性化拠点を整備する。地域住民・若年層・移住者・観光客など多様な人々が交流できる場を提供し、移住相談・移住体験・農業体験を実施する。関係人口・交流人口を巻き込み、町内の二極化の課題を解消するとともに、移住定住を促進し、観光資源や農産物の地域資源を活用して地域の活力を高めることを目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・施設整備 96,030千円（木造平屋182㎡）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①関係人口や交流人口を含めた地域人口の増加数（+3,500人） ②施設の利用者数（+1,000人） ③施設のイベント開催回数（+14回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.miyota.nagano.jp/index2.html

事業概要：官民連携による歴史文化の振興及び産業活性化事業

新規

申請者	長野県下諏訪町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	20,529千円 (6,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	国登録有形文化財である「旧矢崎商店」を①観光の滞在拠点、②町内の回遊の起点、③移住・創業の入口として活用し、これらをテーマにしたプロジェクトや企画を実行する場として運用していく。あわせて「一過性の観光」ではなく、滞在や関係人口の創出を通じて移住定住や創業・開業へつながる「移住定住につながる観光」のあり方を構築し、普及していくことも目指す。これらの取り組みを通して、地域文化と観光産業の担い手を増加させ、下諏訪町にしかない豊かな地域資源を生かした「下諏訪らしい観光」の振興を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「観光産業の担い手」と「地域文化の担い手」を増加させることを目的に、行政・民間・教育機関等多様な関係団体と連携し、以下4つの事業に取り組む。旧矢崎商店を中核拠点として、観光、移住・創業、文化継承を一体で推進することで、町の主要産業である観光関連産業の付加価値向上と担い手確保を同時に進め、強い地域経済の実現に寄与する。①旧矢崎商店運営事業、②移住定住促進事業、③創業・開業促進事業、④文化継承事業						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ①旧矢崎商店ホームページ制作・運営費（1,000千円） 町の歴史的建造物「旧矢崎商店」運営開始に向けた専用ホームページの構築。 ②歴史文化を活用した地域賑わい事業委託費（4,500千円） 旧矢崎商店の官民連携による運営開始に向けた準備、町の移住促進・文化発信事業の委託費。 ③文化財調査研究委託費（500千円） 町内の貴重な史跡、建造物、伝統文化の継承及び保存活用の向けた教育機関への調査研究委託費。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①旧矢崎商店訪問をきっかけとしたUIターン数（+18人） ②旧矢崎商店来場者数（+550人） ③歴史文化イベント・体験プログラム参加人数（+600人） ④宿・店舗等の開業件数（+22件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shimosuwa.lg.jp/www/genre/1000100000070/index.html

事業概要：下諏訪町子育て・交流テラス「わっこ」整備事業

新規

申請者	長野県下諏訪町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	146,685千円 (146,685千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・子育てする保護者が社会の中で孤立することを防ぎ、地域が一体となって支えあい、協力できる環境整備を行うことで、子育て世代に選ばれ、定着するまちづくりを推進する。 ・新規開店する商業施設に行政施設が設置されることで商業施設に付加価値を与え、人を呼び込む手段となる。施設利用者が購買行動を起こすことによる町内の経済活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 民間事業者が新設する店舗別棟に行政施設として、子育て支援及び多世代交流が図られ、地域経済の活性化にもつながる拠点を新たに整備する。子育て世代が安心して安全に過ごすことができるあそび場、集いの場であるとともに、時間帯を区切り小中高生が気軽に集える居場所としての機能を設ける。また商業施設併設の利点を生かし、施設利用をきっかけに町内での買い物や外食などの消費行動につながるよう、世代を超えた利用者のための講座やイベントを実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築物整備 139,865千円 子育て講座スペース、相談・会議室等を整備 ・備品整備 6,820千円 施設の運営に必要な備品を購入						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①施設経由販売増加額（+67,182千円） ②人口の社会増減（+60人） ③世帯の増減数（+20世帯） ④施設利用者数（+16,700人） ⑤施設利用者満足度（+100%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shimosuwa.lg.jp/www/genre/1000100000070/index.html

事業概要：SDG s 未来都市～つなぐ えがく みのわの未来～

新規

申請者	長野県箕輪町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	23,552千円 (9,312千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本町に根付いた農業・製造業といった地場産業の担い手不足や将来世代への継承という課題に対応し、地域経済の持続性を高めることを目的する。 ・農業拠点のブランディングやこどもまんなかの取組を通じて、地場産業の魅力や役割を可視化し、将来世代が地域産業に関わるきっかけを創出するとともに、脱炭素化や観光分野の環境対策を一体的に進めることで、地場産業を取り巻く環境の改善と価値向上を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、人口減少・少子高齢化に伴う担い手不足や多文化共生、環境負荷の課題に対し、製造業・農業の人材育成と雇用創出、外国人住民への日本語学習や多言語防災支援、脱炭素や環境配慮型の産業・観光施策を一体的に進め、経済・社会・環境が好循環する持続可能な地域づくりを目指すもの					 誰もが将来にわたり安心して生活できる「住みやすい町」を目指す	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 農産物ブランディング支援：1,162千円 こどもまんなかイベント事業：1,499千円 有機農業推進事業：260千円 ゼロカーボンシティみのわ推進事業：6,319千円 ほか						
主なKPI	①新規就農による付加価値創出額（+1,200万円） ②ゼロカーボン・環境配慮に具体的な取り組みを開始した事業者数（+6社） ③環境にやさしい農産物認証制度による認証数（+60件） ④17歳町民意識・生活実態調査における「就職時に箕輪町に戻りたい/残りたい」と回答した割合（+6%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.minowa.lg.jp/sos_hiki/kikaku_shinko/gyomu/12/143.html

事業概要：みのわの地域魅力化戦略～「住みたい、住み続けたい」を育む道の駅拠点整備～

新規

申請者	長野県箕輪町						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	380,080千円 (125,750千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	・農産物直売所における地場産品の売上拡大や、地産地消レストランにおける地域の農畜産物を使った料理の売上拡大、農産物加工所における地域の農産物を使った加工品やスイーツの売上拡大等により、農業従事者の所得上昇、地域の特産品（果樹、野菜、花卉等）の認知度向上や、販路拡大を目指す。 ・地域の子育て支援施設、遊び場機能を整備することで、子育て世代の定住を促進するとともに、地域の文化や農をはじめとする産業の魅力発信をすることで、シビックプライドの醸成と関係人口の増加を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「みのわテラス」の道の駅としての機能整備（情報案内スペース、ベビーコーナー、24時間使えるトイレ改修）を行うと同時に、芝生広場の拡張、屋内遊戯施設の整備といった「遊び場機能」の充実化、体験スペース、屋内休憩スペースの整備を行うことで、子育て環境の改善や関係人口の増加及び移住定住の促進を目指す。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・農産物加工所の増築工事 68,640千円 ・駐車場の拡張 22,936千円 ・屋内遊戯施設の実施設計 20,350千円 ・公式ホームページの改修 770千円 ・デザイン監修等 660千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農産物直売所の売上のうち産地直売品の売上金額（+3,600万円） ②関係人口（+1,550人） ③道の駅全体の施設利用者数（+9.0万人） ④施設全体の売上金額（+8,900万円）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年6月公表予定

事業概要：地域共生ステーション整備事業

新規

申請者	長野県箕輪町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,666千円 (3,666千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・障がい者等活動拠点を駅前通りの空き店舗に移転し、誰もが利用できる施設に転換することで、障がい者、こども、住民等多様な世代が集まり、誰もが居場所と役割を持ってつながり、活躍できる地域を実現し、産業の発展支援につなげる。 ・駅前通りに人が集う場所ができることにより、中心市街地の賑わいづくりに寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 現在の障がい者等活動拠点を駅前通りの空き店舗に移転し、誰もが利用できる施設に転換する。また、福祉全般の相談機能を集約し、近隣のこどもの居場所とともに、障がい者、こども、住民等多様な世代が集まり、誰もが居場所と役割を持ってつながり、活躍できる地域を実現する。					居場所・地域の つながりの場 空き店舗の 有効活用 ・誰もが活躍 できる地域づくり ・中心市街地の 賑わいづくり	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・商店街の空き店舗を活用し、地域共生ステーションを整備 ・現障がい者等活動拠点からの備品等移転、設備撤去 新施設整備（委託料） 3,666千円					 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域通貨（みのちゃんカード）域内消費額（+4,150万円） ②地域共生ステーション利用者数（+230人） ③利用者の社会参加移行人数（+10人） ④イベント実施回数（+20回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.minowa.lg.jp/sos/hiki/kikaku_shinko/gyomu/12/144.html

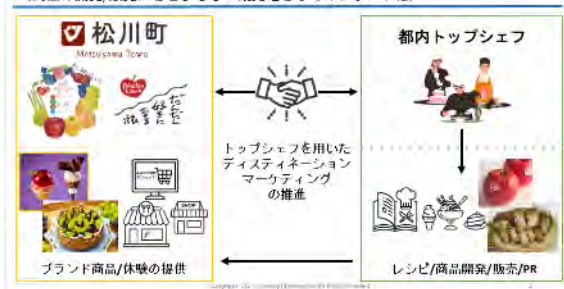
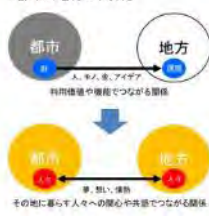
事業概要：地域資源を活用した持続可能な観光×産業創出「いいじま未来共生イノベーション」事業

新規

申請者	長野県飯島町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	25,000千円 (25,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・豊かな森林資源と美しい自然景観を活かした観光産業を核とし、地域の「稼ぐ力」を飛躍的に向上させることを目指す。 ・「地域商社」設立による地域経済の活性化を目指す。 ・未利用資源の利用による産業、魅力発信、関係人口アップを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域資源を最大限に活用し、新たな価値を創造するための「地域商社」を設立し、以下の機能を核として運営する。 （1）地域産品の開発・販路開拓：森林資源や農産物を活用した高付加価値な商品の企画・開発、および国内外への販路開拓（2）観光コンテンツの造成・誘客：自然や文化を活かした体験型観光プログラム（森林セラピー、エコツアー、農業体験など）を開発し、観光客や関係人口向けの誘客を促進（3）関係人口との連携強化：「ふるさと住民登録制度」を積極的に活用し、登録者からのアイデアを商品開発やサービス提供に反映させます。副業やボランティアによる地域活動への参画を促し、地域課題解決と新たなビジネス創出へと繋げる。（4）SDGsへの貢献：森林資源の持続可能な管理・利用、地域内での経済循環の促進、多様な働き手の確保、環境配慮型事業の推進など、事業活動全体を通じてSDGs達成に貢献する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 （1）「地域商社」の設立と地域資源の洗い出し業務（委託料）18,000千円 ・体制整備（現状分析・人材）・地域資源現地調査 （2）「地域商社」基本構想の策定業務（委託料）7,000千円 ・長期的ビジョン・事業実施に向けたプロセス						
主なKPI	①観光消費額（+417千円） ②特産品開発支援件（+1件） ③間伐実施面積（+11.92ha） ④滞在型にぎわい創出施設利用者数（+121人） ⑤ふるさと納税件数（+400件） ⑥Uターン者数（+11人）					URL	令和9年3月公表予定
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

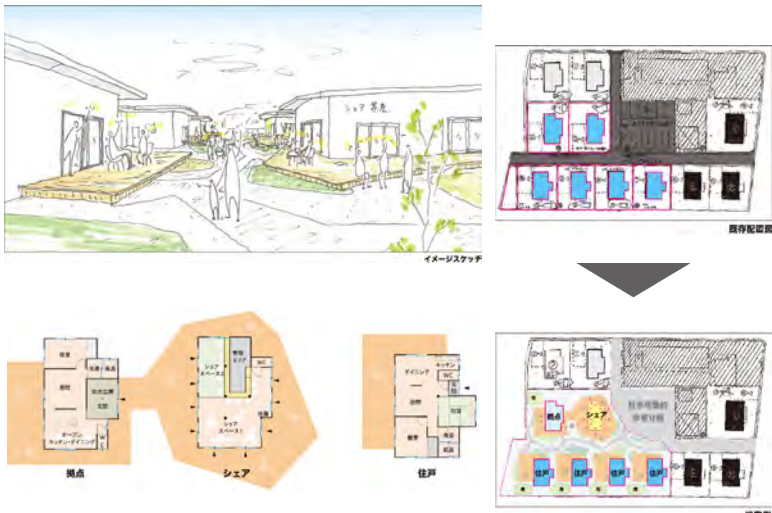
事業概要：リニアで繋がる地域と都市部のヒト・コト・モノ交流事業

旧制度（推進）

申請者	長野県松川町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	35,200千円 (11,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	新規販路開拓による農業就業人口の増加 新規メニュー開発による地元PR効果からくる誘客の促進 都市間交流コミュニティ創出によるヒトの繋がりが生み出す新しい関係性の構築 農業・都市間交流分野による関係人口増加による移住定住者の獲得		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 都市部トップシェフを招き、町の多品目果樹を活かしたメニューを開発することで町をPRし、観光サイトの強化で誘客と収益化を図り、農業施策に還元する。 また、「マツカワたがやすかいぎ」を発展させ、町と品川宿に暮らす人々を対象に体験型ワークショップや農業体験を通じたコミュニティを形成し、継続的な関与と担い手確保につなげる。 【R8年度事業 経費内訳】 ○地元農産物を活用した都市部のトップシェフとの連携事業 (委託料、広告経費、パッケージ開発経費等) 6,600千円 ○リニア駅で繋がる都市間交流事業 (委託料) 4,400千円		(商品の開発/販売にとどまらない観光地としてのブランド化)  「都市と地方の関係」 
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における農林水産就労者数 (+120人) ②社会増減数 (+6人) ③ふるさと納税寄付件数 (+1,500件) ④地域の人口数 (▲589人)		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.town.matsukawa.lg.jp/soshikikarasagasu/machizukuri/seisakuka/kikakutyouseikakari/4/9699.html

事業概要：リニア駅でつながる都市間交流拠点整備事業

継続

申請者	長野県松川町					初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	163,743千円 (149,484千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	松川町と都市部（品川など）との交流を通じて関係人口を創出・深化させ、「おためし」の次のステップへの仕組みと活動及び拠点整備により、2拠点居住・活動や移住、定住を段階的に促進し、地域の担い手不足や人口減少といった構造的課題の解決につなげる。 都市住民が松川町での暮らしや活動を中期的に行える環境が整うことで、地域への関心や関わりが深まり、最終的には移住、定住や地域の担い手増加へと結びつくことで、地域住民と都市住民の交流が活性化し、地域コミュニティの多様性と活力が高まり、持続可能な地域社会の実現と「住み続けたい」と思えるまちづくりが推進される。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 リニア中央新幹線開業による都市間アクセスの向上を追い風に、旧国交省官舎（空き家）をリノベーションし、「交流・居住・活動」の機能を持つ多機能・多世代型の地域構想拠点の整備。また、段階的な地域参画の機会を創出し、関係人口の拡大と地域の担い手の確保・定住促進を図る。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・都市間交流拠点づくり運用及び運営計画策定 ワークショップ開催（4回）、事業全体の企画・設計・運営に係る業務、特産品開発企画運営、施設利用促進イベント（委託料）3,100千円 ○拠点整備事業 ・拠点整備工事の工事管理業務及び拠点整備改修工事 工事監理業務、拠点整備改修工事 107,492千円 各住宅（4棟）への畑の設置、歩車分離と庭のような共有空間整備 30,807千円 住宅・拠点用家具、共有施設・家具・設備、拠点・共有施設、家電機器 8,085千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①社会増減数（-153人） ②移住促進住宅利用者数（＋15人） ③ウェルビーイング指標で「私は、いま暮らしている地域にこれからも住み続けたい」の割合（＋1ポイント） ④共有スペース利用回数（＋768件） ⑤ウェルビーイング指標で「私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある」の割合（＋1ポイント） ⑥ウェルビーイング指標で「私の暮らしている地域には、自分が自己表現できる場や活躍できる場がある」の割合（＋75ポイント）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.matsukawa.lg.jp/c_hoseijoho/kihonkoso_keikaku/chihoso_sei/11709.html	

事業概要：関係人口コミュニティが展開するタウンプロジェクト事業

新規

申請者	長野県松川町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	12,000千円 (4,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・当町の地場産業である果樹農業を中心に、町内の商業・観光・体験サービス等の関連産業を一体として活性化し、地場産業の付加価値向上と販路(顧客接点)拡大を通じて地域経済の維持・拡大を図る。 ・人口減少等で生じる担い手不足や好意層の単発化を解消するため、通年プログラムと「登録・役割・継続発信」の仕組みで、来訪者を継続参画へ転換する。 ・運営負担を分散し、担い手を確保する。通年体験と回遊設計で再訪・参加を増やし、若者・出身者の関与を拡大させることで、関係人口を蓄積し、地域産業の持続性を高める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・町外者を中心とする関係人口コミュニティ「南信州クリエイティブコミュニティ」を中核に町全域で通年度のイベント及び体験プログラムを実施するとともに、町内イベント等への初参加者が継続的な参画者へ移行できるようなしくみを整備し、「一度きりの来訪」を「継続的な関わり」へ転換することで人口減少における担い手不足の補完と地域産業の持続性向上を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・南信州クリエイティブコミュニティ事業 3つコミュニティの運営、コミュニティが実施する事業実施経費、全体企画運営（委託料）4,000千円						
主なKPI	①関係人口の人数（+1,050人） ②町民が実施するイベント、行事への関係人口の参加人数（+15人） ③果樹研修生参加人数（+9人） ④町民と関係人口が独自に実施するイベント・行事の実施件数（+3件） ⑤南信州クリエイティブコミュニティが実施する町のPRやイベントの発信リーチ数（+4,000件） ⑥NFT販売額（+940万円）					URL	※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.town.matsukawa.lg.jp/choseijoho/kihonkoso_keikaku/chihososei/11709.html

事業概要：松川町交流・学び・挑戦が循環する地域拠点形成事業

新規

申請者	長野県松川町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	8,250千円 (3,080千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・中心市街地に形成する地域拠点を核として、生産者、事業者、クリエイター、消費者が交わる場を創出し、商品開発や表現力の向上、小規模な販売・実証の機会を提供することで、地場産業の付加価値向上と販路開拓を支援する。 ・拠点を核に活動が集約・連動することで、点在する取り組みを面へ拡大させることができる。また、経済の活性化が暮らしの質向上と参画意欲に結び付き、官民共創型の運営体制の定着、新たな価値創出を促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・中心市街地に空き家店舗等を活用した地域共創拠点を整備し、交流・学び・創作・小商いなど多様な活動が日常的に生まれる場をつくることで、点在する人材や取組を集約し、地域の関係性を再構築する。あわせて、経済活動と居場所・文化交流等の生活関連活動を一体展開し、経済活性化が暮らしの質向上と地域参画につながる循環を形成する。さらに町外人材の段階的関与を促して関係人口の定着と新たな価値創出を図る。						
	----- 【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・あらい商店街共創拠点「KAICO」を核とした地域循環型まちづくり推進事業 事業実施経費、企画運営 (委託料) 3,080千円						
主なKPI	①人口の社会増減数（転入者-転出者）（+6人） ②年間来訪者数（+300人） ③ワークショップ・イベント実施数（+15回） ④関係人口（継続的関与者）（+30人） ⑤SNSフォロワー増加（+150人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.matsukawa.lg.jp/choseijoho/kihonkoso_keikaku/chihosomei/11709.html

事業概要：信州たかもり温泉改修事業

継続

申請者	長野県高森町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,553,392千円 (758,243千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	信州高森温泉「湯ヶ洞」、「御大の館」をリニューアルし、新たな観光の拠点として整備することで、観光消費額の増加を図る。観光客と地元住民の交流を促す拠点とすることで、より一層の観光体験の提供と、観光産業の発展を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・全館のリニューアル、模様替え ・客室の改修、客室数増工事 ・レストラン新設工事 ・大人数収容サウナ塔新設工事 ・浴槽の一部拡充と新設 ・宿泊棟と温浴棟を繋ぐ渡り廊下新設工事						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○監理業務 7,150千円 ○建築主体工事 245,680千円 ○設備工事 448,413千円 ○備品整備費 56,100千円 ・整備内容 温浴棟改修工事 ①内装改修工事 ②大浴場改修工事 ③サウナ新設工事 ④渡り廊下新設工事						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①南信州地域の観光地消費額（+90億円） ②信州たかもり温泉宿泊者数（+1,500人） ③信州たかもり温泉来館者数（+35,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.nagano-takamori.lg.jp/docs/73052.html

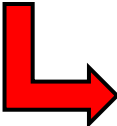
事業概要：上松町の賑わいを取りもどす観光拠点整備事業

新規

申請者	長野県上松町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	169,292千円 (169,292千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・閉業した民間施設を活用し産地直売所、特産品等の開発・販売機能をもった「みなし道の駅」として整備し、魅力的な町内観光地や特産品の紹介を通して、かつての賑わいを取りもどすとともに町内事業者の所得向上を図り、観光消費額の増加など経済波及効果をもたらす拠点施設とする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 かつての地域の賑わいの復興と多様な利用ニーズに沿った物販、直売、特産品の開発、観光案内などの機能を有した観光拠点施設として整備し、収益事業を展開することで観光消費額の向上と町内事業者への波及効果を促進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築物本体改築工事（改築本体、電気設備、機械設備、厨房施設） 18,700千円 ・既存トイレ移転工事（建築物本体、解体、処理） 141,000千円 ・デジタルサイネージ設備設置工事 3,300千円 ・DX促進設備工事（車両ナンバー検知システム） 6,292千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①上松町観光消費額（+560,405千円） ②寝覚の床観光消費額（+553,123千円） ③寝覚の床観光利用者数（+108千人） ④テナント連携事業者数（+10者） ⑤特産品新規開発数（+7種類）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

事業概要：木祖村駅前観光拠点整備事業

新規

申請者	長野県木祖村						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	57,519千円 (57,519千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	駅前に観光案内機能と交通結節機能を備えた観光拠点を整備し、来訪者が到着時に観光情報と公共交通情報を一体的に取得できる環境を構築することで、村内観光地や地域事業者への周遊を促進し、滞在時間の延伸と地域内消費の拡大を図る。また、多言語対応や情報発信機能の強化により、多様な来訪者の利便性向上と交流人口の増加を促進するとともに、公共交通利用促進と移動環境の改善を通じて、観光消費額増加や地域産業活性化など持続可能な地域経済の発展につなげることを目的とする。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 木祖村の玄関口であるJR藪原駅前に観光案内所と交通事業所（民間機能）を併設した観光・公共交通連携拠点を整備し、村内観光資源、体験型観光コンテンツ、宿泊施設、飲食店、特産品等の情報と公共交通情報を一体的に提供する体制を構築する。これにより、来訪者の円滑な二次交通利用を支援するとともに、村内観光地や特産品を「見る・知る」機会を創出し、地域内の周遊促進と滞在時間の延伸を図ることで、観光客数ならびに観光消費額の増加を通じた地域経済の活性化につなげる。						 現観光案内所  現交通事業所	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 48,136千円 ・外構工事 9,383千円						 駅前空き家跡地に集約 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①村内全観光地 年間観光消費額（+113,997千円） ②藪原宿・鳥居峠間 観光消費額（+793千円） ③村内全観光地 年間観光入込客数（+22,316人）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：木の産業づくり事業

新規

申請者	長野県木曽町、長野県						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,855,023千円 (52,453千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓		
目的・効果	・豊富な森林資源を有する本町の木材関連産業について、中間土場の整備により新たな内装材合板工場等への供給が可能とし、地域内で加工することにより付加価値を向上させる。 ・地域資源の地産地消により、住民の森林整備への関心を高め、地域経済の拡大を目指すとともに、中間土場を基軸とした林業の6次産業化による持続可能なまちづくりが期待できる。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 木曽町全体面積の約90%が森林であり、その多くが伐期を迎えている。林業関連産業従事者も減少傾向であるため、新たな木の産業づくり事業として6次産業化を進めることにより、林業関連就業者の増加が見込まれるとともに、地域全体で地域内資源の循環利用及びサプライチェーンの構築を図る。また、地域内で製造された高付加価値商品の運送におけるコスト縮減のため、施設と主要幹線道路間の町道を整備する。						地域内資源の循環型利用	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築物整備事業 管理棟新設ほか 19,181千円 ・設備、用地造成事業 舗装工事ほか 33,272千円 ○インフラ整備事業 ・森林整備事業 2,570千円 ・町道整備事業 1,800,000千円							
主なKPI	①新規雇用者数 (+13人) ②木材搬出量 (+2,000m³) ③大型車通行量 (+500台) ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						URL	※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.town-kiso.com/chousei/shisaku/100395/102407/

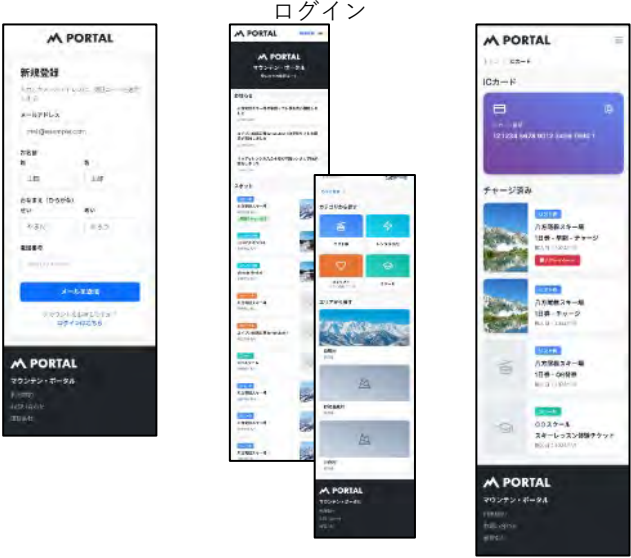
事業概要：未来へつなぐ農産物直売所を拠点とした地産地消推進事業

新規

申請者	長野県松川村						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	107,000千円 (92,500千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	・道の駅「寄って停まつかわ」に新たに農産物直売所を建設し、生産者の販路開拓や、地産地消の向上を目指す。 ・地域での農業生産者の高齢化や担い手不足に伴う、新たな拠点での生産意欲や担い手確保につなげる。 ・観光拠点でもある道の駅から、地場農産物の魅力と村の魅力を伝え、交流人口の促進を図る。 ・6次産業につながる加工品の開発を行い、新たな付加価値創出を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域農業生産者からのニーズより、農産物の品質確保や購入者のサービス向上が必要であるため、農産物直売所及び加工所を併設した農産物直売所を新設（増築）する。松本市及び白馬村を結ぶ観光拠点にも位置付けられる立地を活かし、通過地点ではない、滞在時間が延びるスペースや賑わいのある道の駅と連動した拠点整備を行う。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・農産物直売所建築物本体工事 69,000千円 ・既存施設連携整備工事 7,000千円 ・既存施設改修工事 8,500千円 ・設計監理委託料 8,000千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農産物販売額の増加（+22,951千円） ②施設交流人口（+56,815人） ③生産者登録者数（+20人）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年12月公表予定

事業概要：DXによる地域観光業の持続可能性向上事業

旧制度（推進）

申請者	長野県白馬村ほか2自治体	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	142,000千円 (50,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	観光業において、近年の環境変化への対応の遅れをDXにより克服、観光業を活性化し、住民が永続的に定住できる村になることを目指す マイポータル、リフト券の通年販売、ダイナミック・プライシング、地域間の相互送客などにより、国際競争力、地域観光業の持続可能性を向上させる		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 スキー場利用者がリフト券にチャージしている情報を確認できない課題を解決するためにチャージ券種、利用ステータスを表示できるようにする。DMOが「マイポータル」利用者のデータをCRMに使えるようにするダッシュボード機能追加する。リフト券のダイナミックプライシングを可能にする機能を追加。山岳リゾートDX協議会の運営、参画者追加		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ゲートシステムとのAPI連携の仕様調整、システム仕様策定、開発・実装、導入テスト、サービス運用に関する委託費用：15,000千円 ・ダイナミックプライシングの規格のスキー場との調整、ゲートシステムとの整合性確保・API連携の仕様調整、システム仕様策定、開発・実装、導入テスト、サービス運用に関する委託費用：30,000千円 ・山岳リゾートDX協議会の企画、議事設定、運営に関する委託費用）、市場調査経費：5,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+12億円） ②マイポータル登録者数（+10万人） ③連携する自治体の数（+10市町村） ④マイ・ポータル内のリンクからの、ふるさと納税額（+6.24億円）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.vill.hakuba.lg.jp/gyosei/soshikikarasagasu/somuka/seisakukikakugakari/2/14703.html

※長野県白馬村、野沢温泉村、小谷村の広域連携事業

申請者	長野県小谷村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	525,000千円 (20,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・伝統ある地域の工芸品・特産品のブランド化を展開し、地場産業の高付加価値化を目指す。 ・若者・女性にも選ばれる地域づくりを進め、来訪、関係人口、移住・定住の循環を強化して、人口減少下でも地域経済とコミュニティを維持する。 ・工芸品等の高付加価値化、お試し滞在拠点整備、道路のボトルネック解消(周遊性向上、移住不安低減)を一体実施する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地場産業である工芸品等について、外部ブランドの知見を活用し、ターゲット(若者・女性層)を明確にしたデザインやブランディングを一体で実装することで、少量生産でも利益が確保できる高付加価値化を図る。併せて、ブランドの販売チャネルや発信力を活用して認知獲得と販路拡大を行い、作り手の所得向上、担い手確保等に結び付ける。周辺の取組として、お試し滞在拠点（移住促進住宅）を新たに整備し、来訪者が地域での暮らしと仕事に触れながら住まい・就業相談へ進む導線を組み込み、関係人口から担い手・移住へ転換する。併せて、インフラ整備事業を観光・生活動線のボトルネック解消として実施し、周遊性を高めることで滞在時間の価値を向上させ、村内での購買・体験機会を増やし、また、移住不安の低減を図ることで移住者増へつなげる事業である。					 小谷村工芸品 ぼろ織り	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・工芸品等のブランディングプロデュース（補助金）12,000千円 ・道の駅等を活用した工芸品のプロモーション（委託料）2,000千円 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 移住促進住宅整備 5,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①転入者数（+111人） ②付加価値増加額（+960万円） ②道の駅売上高（+180万円） ③工芸品・特産品再開発数（+10品） ④村道・林道の設置管理瑕疵等事案件数の減（▲4件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年10月公表予定

事業概要：持続可能な地域づくりに向けた多様な雇用機会創出と関係人口拡大事業

旧制度（推進）

申請者	長野県信濃町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	30,538千円 (6,394千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	地域の季節的な雇用の不安定さと人口減少の課題に対応するため、安定した雇用環境の整備とシティプロモーションによるシビックプライド向上から関係人口の創出に取り組む。季節依存の産業からの脱却と関係人口拡大を通じて地域の持続可能な発展を促進することで、地域住民の地域愛を高め、町外からの移住者の増加を目指すもの。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 シティプロモーションと関係人口の拡大を目的に、専用サイトや映像で町の魅力を発信し、信濃町ファンクラブの本格運用により町外との継続的な関係を築きます。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○シビックプライド向上に関する事業 ・シティプロモーションサイトの構築(委託料) 1,000千円 ・信濃町しあわせ会議の開催(委託料) 1,000千円 ○関係人口創出・拡大に関する事業 ・関係人口プラットフォーム開発(委託料) 2,200千円 ・関係人創出・拡大事業(委託料等) 1,204千円 ○多様な雇用機会創出に関する事業 ・移住者の採用活動業務(委託料) 990千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域へのUIターン数 (+15人) ②特定地域づくり協同組合雇用者数 (+7人) ③信濃町ファンクラブ会員数 (+1,400人) ④信濃町への愛着度 (+9.53%)		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.town.shinano.lg.jp/docs/1580227.html

事業概要：シン・デジタルデバイド支援による地域活力向上プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	長野県信濃町	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	41,678千円 (15,678千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	①町内における事業者DXの推進 ②町内における雇用及びデジタル人材の活躍の場の創出 ③生産年齢人口の減少及び人口密度減少に伴うインフラサービス維持対策 ④デジタルデバイド対策		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 元気産業のまちづくり推進のために、eコマース拡充支援や人材育成等により既存産業の活性化を図るとともに、新規事業として地域住民を対象とした新しいデジタルデバイド解消インフラサービスを創出する。また、これらの拠点として信濃町GDXセンターを運営する。 【R8年度事業 経費内訳】 ・フルリモート支援サービスの実装事業 8,842千円 ・デジタル人材の募集・育成事業 2,250千円 ・地域の小売業者に対するeコマースに特化した事業者DX推進支援事業 3,406千円 ・信濃町GDXセンターの運営事業 1,180千円		
	高齢者リモート支援サービス概要（デジタルが触れない人向け） 見守りコミュニケーション 支援者（DXアドバイザー） (時間設定可) 非支援者（高齢者等） パターン1 フルリモート 非支援者はタブレットを触る必要なし パターン2 応答有り 非支援者はタブレットを触って応答 (タッチ) 緊急時 ワンタッチで緊急発進が可能 ※接続ログ、動画（音声＋画面）による記録あり		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における新規雇用者数（+8人） ②フルリモート支援サービス利用者数（+80人） ③eコマースに関する事業者DX支援件数（+3件）		
		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.town.shinano.lg.jp/ docs/1580227.html

事業概要：ネイチャーポジティブを通じた観光産業の付加価値創出事業

新規

申請者	長野県信濃町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	27,500千円 (4,900千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・信濃町の自然資本を核に、観光・農業の労働生産性を抜本的に改善し、持続可能な地域経済モデルを確立する ・再生型観光の実装と外資系ホテルの進出を機に、付加価値の外部流出を防ぎ、町内所得の最大化を図る。 ・認定ガイドの知見を科学的に知的財産化し、高単価市場に対応できる高度専門人材（ガイド）を育成する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 1年目：自然資本の定量調査に基づく「生物多様性地域戦略」の策定、および熟練ガイドの知見アーカイブ化。 2年目：科学的根拠に基づく「インタープリテーション（解説）計画」の策定と、国際水準のスキルを持つ「高度NPガイド」の養成。 3年目：養成した人材と「オーガニックビレッジ宣言」に基づく産品を外資系ホテル等の富裕層マーケットへ直接投入し、販路開拓と産業間マッチングを完遂。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・生物多様性地域戦略策定（委託料） 4,300千円 ・地域資源調査継承検討会議（報酬、消耗品等）600千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地場産業における域内付加価値増加額（+1,800万円） ②観光・農業分野における人口一人当たりの労働生産性向上率（+80%） ③地域へのUIターン数（移住・定住者数）（+10人） ④関係人口・交流人口の増加数（NPサポーター登録数）（+300人） ③高度NPガイド養成・認定者数（+15人） ④産品の新販路開拓および産業間マッチング件数（+5件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shinano.lg.jp/docs/1580227.html

事業概要：飯綱東高原スポーツ交流拠点整備事業

新規

申請者	長野県飯綱町					初回採択回	令和8年1月募集	
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,710,478千円 (41,965千円)	
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	・スポーツ施設整備と観光資源活用により交流人口を拡大し、地域経済を活性化させる。 ・広域観光連携を基盤にスポーツツーリズムを推進し、観光客数の回復と地域特性を活かしたブランド化を図る。 ・地域住民参加型のスポーツプログラムと交流拠点を展開し、持続可能で魅力ある地域づくりを目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「スポーツツーリズム」を核とした地方創生を推進し、交流人口拡大と地域経済活性化を目指す。冷涼な自然環境を活かし、天然芝・人工芝サッカー場、クラブハウス、駐車場を新たに整備し、プロ・アマチュアサッカーチームの合宿誘致を進める。地元住民参加型の活用やイベント開催を通じ地域活性化を促進し、観光消費額の増加を図る。また、長野市と連携し、複数施設を活用した「サッカーの聖地化」や広域観光を推進することで、観光客数の回復や地域ブランドの形成、持続的発展に取り組む。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・用地造成 基本設計業務及び用地測量業務 41,965千円 飯綱東高原多目的グラウンド、テニスコート敷地及び旧飯綱浄水場跡地に天然芝サッカーグラウンド1面、人工芝サッカーグラウンド1面、クラブハウス、駐車場を整備するための基本設計及び用地測量							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①町内の主要観光事業者における観光消費額（+52.5百万円） ②飯綱東高原エリア集客数（+1.5万人） ③スポーツ交流拠点施設の利用者数（+1万人） ④スポーツ合宿等地域内滞在期間（+1.2日）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.iizuna.nagano.jp/docs/13994.html	